

# 平成28年度 環境活動レポート



発行年月日 平成29年 9月 30日

レポート対象期間 平成28年 8月 ~平成29年 7月

株 式 会 社 ミ ヤ プ ロ

# 環境レポートの記載要領

## 目 次

1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 環境管理組織体制
4. 製造フロー
5. 環境目標
6. 環境活動計画
7. 環境活動教育
8. 環境目標の実績
9. 環境活動計画の具体的な取組
10. 環境活動計画の取組結果とその評価
11. 次年度の環境活動計画の取組内容
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
13. 代表者による全体評価と見直し

発行日： 平成29年 9月 30日

発行責任者：環境管理責任者 安野秀樹

次回発行予定： 平成30年 9月末

## 1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社ミヤプロ

【代表者氏名】 代表取締役 宮崎 佳昭

【所在地】 本 社 香川県高松市朝日新町16番19号  
東京営業所 東京都港区元赤坂1-1-7  
オリエント赤坂モートサイド805  
東 営 業 所 香川県さぬき市大川町富田西1206番地4

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 製造部 部長 安野 秀樹  
連絡先担当者 製造部 部長 安野 秀樹  
連絡先 TEL : 087-851-0515 / FAX : 087-851-5666

【事業活動の内容についての簡単な記述】

印刷・製版、ICT事業  
企画・デザイン・印刷〔名刺、ハガキ、ポスター、カタログ、その他全般〕  
ICT関連・ホームページ関連・マルチメディアコンテンツ関連  
CG関連・受信代行業務

【事業規模】

設立年月日 昭和51年12月  
資本金 2,400万円  
主要製品の生産量・出荷額（売上高） 3億6,900万円（平成28年度）  
事業年度 8月～7月

	本社	東京営業所	東営業所
従 業 員	23名	2名	1名 <sup>※</sup>
延 べ 床 面 積	1,176.05m <sup>2</sup>	25.88m <sup>2</sup>	54m <sup>2</sup>

※本社兼任

【対象範囲（認証・登録範囲）】 全社・全活動

【プライバシーマーク】

平成18年10月1日 認証取得  
平成28年10月10日 更新



【CSR】

平成25年6月25日 ワンスター認証取得  
平成27年6月29日 ツースター認証取得  
平成29年6月28日 ツースター更新



CSRとは、全日本印刷工業組合が制定した認定制度。①コンプライアンス②環境③情報セキュリティ④品質⑤雇用・労働安全⑥財務・業績⑦社会貢献・地域志向⑧情報開示・コミュニケーションの8項目で評価。この8項目をクリアできた企業が、認定を受けることができる。第二弾として、ツースターの認定を受けた。

【Pepperパートナープログラム】

平成29年1月 ロボアプリパートナー  
(Basic) として認定



パートナープログラムは、Pepperの法人モデルPepper for Biz向けロボアプリの開発者などを総合的に支援するプログラム。「Basic」は、Pepperのロボアプリ開発における基礎的な知識や技術力を保有している企業が取得できるもの。

## 2. 環境方針

### 【基本理念】

株式会社ミヤプロは、環境負荷を低減できる印刷やIT関連業務を通して“環境との調和”を図り、様々な環境問題に対応できる体制づくりを強化してまいります。  
私たちは製品作りに関して、一連の業務フローの中で、法令遵守し高品質を維持しながら環境負荷を低減した印刷、IT関連業務を行ないます。

### 【基本方針】

1. 環境負荷の低減を図る為、以下のことに取り組みます。
  - ①車両燃料使用量削減、電力使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
  - ②廃棄物の削減とリサイクル化の推進
  - ③用水使用の節水
  - ④グリーン購入の推進
  - ⑤工程見直しによる古紙の有効活用
2. 関連する環境の法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. P R T R法対象薬品の使用方法及び管理において、法令に遵守します。
4. 環境負荷の低減目標や運用計画は、定期的に見直し継続的な活動に取り組みます。
5. 従業員に対し、朝礼・会議を通じて、環境方針・環境活動計画などについての周知徹底を図ります。

※この環境方針は、全従業員に周知徹底を図るとともに、HP等で社内外に公表する。

制定日：平成24年10月9日

香川県高松市朝日新町16-19

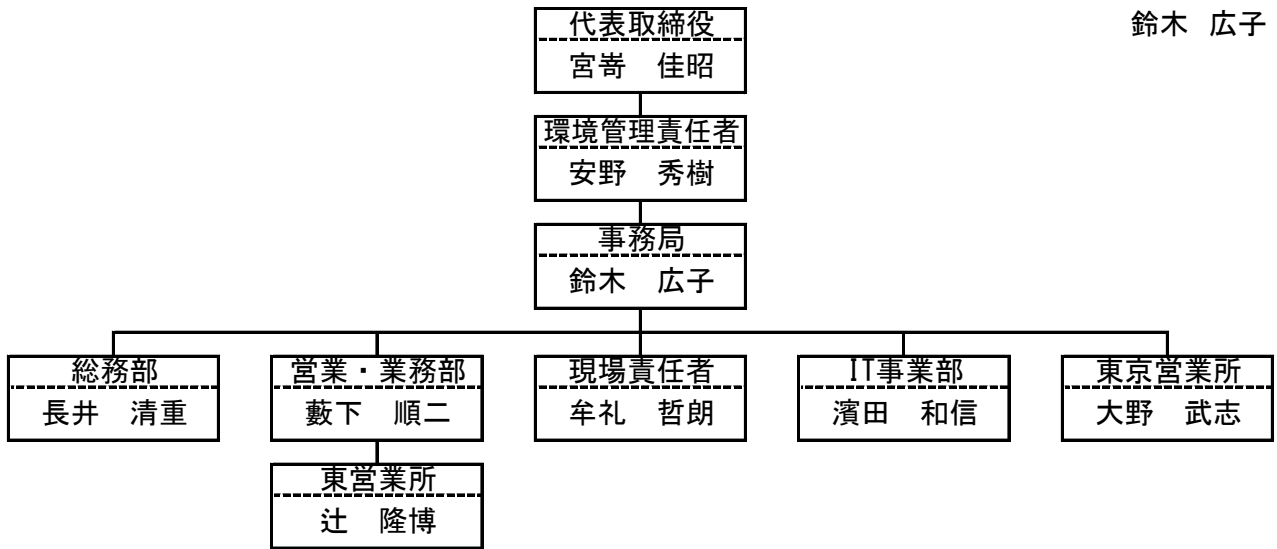
株式会社ミヤプロ

代表取締役

宮崎佳昭

### 3. 環境管理組織体制

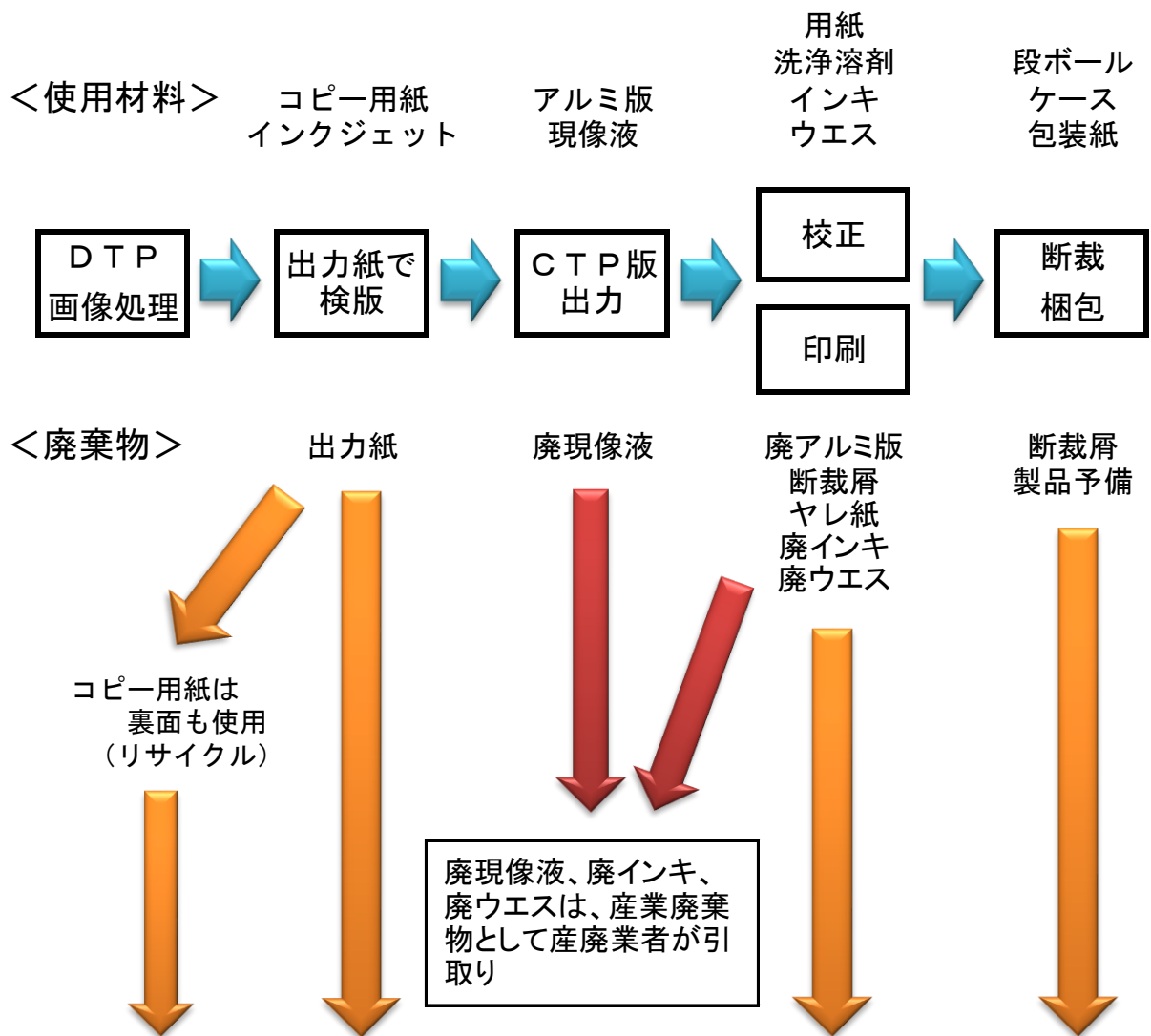
作成日 平成24年9月18日  
鈴木 広子



#### 環境管理システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知</li> <li>全従業員に対する教育・訓練の実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートを確認し、承認</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の承認</li> <li>緊急事態への対応マニュアルを確認し、承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境目標、環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取り組み結果を代表者に報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> <li>環境活動計画の実施及び達成状況の承認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境目標、環境活動計画書を作成</li> <li>環境活動レポートの作成</li> <li>環境活動計画の実施及び達成状況の確認</li> <li>緊急事態への対応マニュアル作成</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の確認</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

#### 4. 製造フローチャート



- ・紙類はリサイクル用古紙として、古紙回収業者へ売却
- ・廃アルミ版は廃版業者へ売却

## 5. 環境目標

### (1) 単年度目標

平成27年度を基準に1%の改善を目標とする

	平成27年度 基準値 H27. 8-H28. 7	平成28年度 目標 H28. 8-H29. 7	
CO <sub>2</sub> 発生量 (kg-CO <sub>2</sub> )	142, 534	141, 108	1%減
┌ ガソリン使用量 (L)	12, 231	12, 109	1%減
└ 電力使用量 (kWh)	175, 208	173, 456	1%減
用水使用量 (L)	293	293	現状維持
廃棄物発生量 <sup>※1</sup> (t)	11. 25	11. 13	1%減
グリーン購入推進 (%)	100	100	現状維持
化学物質排出量 (kg)	11. 86	11. 86	現状維持
工程見直しによる古紙の有効活用 (t)	47. 94	48. 42	1%増

### (2) 中長期目標 (3～5年先)

平成27年度を基準に、毎年1%ずつ改善を目標とする

	平成27年度 基準値 H27. 8-H28. 7	平成28年度 目標 平成27年度比	平成29年度 目標 平成27年度比	平成30年度 目標 平成27年度比	平成31年度 目標 平成27年度比
CO <sub>2</sub> 発生量 (kg-CO <sub>2</sub> )	142, 534	141, 108	139, 683	138, 257	136, 832
┌ ガソリン使用量 (L)	12, 231	12, 109	11, 987	11, 864	11, 742
└ 電力使用量 (kWh)	175, 208	173, 456	171, 704	169, 952	168, 200
用水使用量 (L)	293	293	293	293	293
廃棄物発生量 <sup>※1</sup> (t)	11. 25	11. 13	11. 02	10. 91	10. 80
グリーン購入推進 (%)	100	100	100	100	100
化学物質排出量 (kg)	11. 86	11. 86	11. 86	11. 86	11. 86
工程見直しによる古紙の有効活用 (t)	47. 94	48. 42	48. 90	49. 38	49. 86

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（平成27年度実績）（平成28年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.651 kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. 東営業所は、営業戦略上、拠点としておいているが常在していない。電気、水は含まず。

## 6. 環境活動計画

期間： 平成28年 8月 ～ 平成29年 7月

項目		活動内容	担当者
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 <sup>※1</sup> ○タイヤ空気圧の点検 <sup>※1</sup>	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す <sup>※2</sup>	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 <sup>※2</sup> ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
グリーン購入推進		○定期的に購入しているグリーン製品をリストアップし、必要な時にはその中から購入する	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
工程見直しによる 古紙の有効活用		○分類を徹底	鈴木

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む



# 7. 環境活動の教育

期間： 平成28年 8月 ～ 平成29年 7月

平成29年2月1日 社外一斉清掃



平成29年2月16日 第16回印刷産業環境優良工場表彰 第1次審査通過

### 第16回 印刷産業環境優良工場表彰応募要領

— 小規模事業所（従業員29人以下）を対象にした部門を設置 —

**平成29年度**

**1. 応募資格**

① 一般 日本印刷産業協会（以下「協会」）の会員である小規模の印刷事業所（従業員29人以下）の印刷工場（印刷機を有し、印刷業務を行う工場）であること。  
② 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
③ 協会の承認を受けた印刷工場であること。

**2. 応募の手続き**

① 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
② 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
③ 協会の承認を受けた印刷工場であること。

**3. 応募期間**

第1次審査：平成29年2月16日（日）  
第2次審査：平成29年2月28日（木）～平成29年3月1日（金）

**4. 表彰の種類**

① 第1次審査通過者（10社）  
② 第2次審査通過者（10社）

**5. 審査方法及び審査基準**

① 第1次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。  
② 第2次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。

**6. 表彰式**

① 第1次審査通過者（10社）  
② 第2次審査通過者（10社）

**7. 問い合わせ**

印刷産業環境優良工場表彰事務局  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
Tel: 03-3553-6079  
Fax: 03-3553-6079  
e-mail: info.dm@jpi.or.jp

### 印刷産業環境優良工場表彰実施要領

**1. 目的**

印刷産業の環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献、地域貢献に資する印刷工場を表彰し、印刷産業全体の環境意識の向上を図る。

**2. 応募資格**

① 一般 日本印刷産業協会（以下「協会」）の会員である小規模の印刷事業所（従業員29人以下）の印刷工場（印刷機を有し、印刷業務を行う工場）であること。  
② 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
③ 協会の承認を受けた印刷工場であること。

**3. 応募の手続き**

① 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
② 協会の承認を受けた印刷工場であること。  
③ 協会の承認を受けた印刷工場であること。

**4. 表彰の種類**

① 第1次審査通過者（10社）  
② 第2次審査通過者（10社）

**5. 審査の方法**

① 第1次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。  
② 第2次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。

**6. 審査の基準**

① 第1次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。  
② 第2次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。

**7. 選考の方法**

① 第1次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。  
② 第2次審査：環境負荷低減、資源の有効利用、省エネルギー、廃棄物の削減、労働安全衛生、社会貢献など。

**8. 審査の結果**

① 第1次審査通過者（10社）  
② 第2次審査通過者（10社）

**【留意事項】**

① 本表彰は、印刷産業全体の環境意識の向上を図ることを目的として実施される。従って、本表彰の受賞者は、本表彰の受賞後も、引き続き環境意識の向上を図るべきである。  
② 本表彰の受賞者は、本表彰の受賞後も、引き続き環境意識の向上を図るべきである。  
③ 本表彰の受賞者は、本表彰の受賞後も、引き続き環境意識の向上を図るべきである。

平成29年5月6日 火災を想定しての避難訓練・消火活動訓練、AED講習



## 8. 環境目標の実績

### (1) 単年度目標とその実績

項目	平成27年度 基準値 H27. 8-H28. 7	平成28年度 目標 H28. 8-H29. 7	平成28年度 実績 H28. 8-H29. 7	評価
CO <sub>2</sub> 発生量 <b>1%減</b> (kg-CO <sub>2</sub> )	142,534	141,108	135,210	○
┌ ガソリン使用量 <b>1%減</b> (L)	12,231	12,109	12,044	
└ 電力使用量 <b>1%減</b> (kWh)	175,208	173,456	164,617	
用水使用量 <b>現状維持</b> (L)	293	293	311	×
廃棄物発生量 <sup>※1</sup> <b>1%減</b> (t)	11.25	11.13	9.64	○
グリーン購入推進 <b>現状維持</b> (%)	100	100	100	○
化学物質排出量 <b>現状維持</b> (kg)	11.86	11.86	14.05	×
工程見直しによる古紙の有効活用 <b>1%増</b> (t)	47.94	48.42	45.84	×

#### 【コメント】

- ・ CO<sub>2</sub>発生量に関して  
クリアできている。引き続き目標達成できるようにしていきたい。
- ・ 用水使用量に関して  
使用量が増えてしまった。原因としては、水道水に海水が混入するという問題が発生し、印刷機で使用している水を全て入れ替えたからだと考えられる。
- ・ 廃棄物発生量に関して  
クリアできている。引き続き目標達成できるようにしていきたい。
- ・ グリーン購入推進に関して  
目標を変更したことで達成できるようになった。引き続き、クリアできるようにしていきたい。
- ・ 化学物質排出量に関して  
使用量が増えてしまった。化学物質が含まれる薬品は、主にブランケットや版の拭き取りに使用している。今年度はゴミ（紙粉を含む）の出やすい紙を使用した印刷物が多かった為、ゴミを拭き取る作業が増え、薬品の使用量も増えてしまったと考えられる。
- ・ 工程見直しによる古紙の有効活用に関して  
目標を達成することができなかった。原因ははっきりしないが、仕事量が減ったことも一つの要因と考えられる。次年度は目標を達成できるようにしていきたい。

### (2) 中長期目標とその実績

(3年間)

	平成27年度 基準値 H27. 8-H28. 7	平成28年度 実績 H28. 8-H29. 7	平成29年度 目標 H29. 8-H30. 7	平成30年度 目標 H30. 8-H31. 7
CO <sub>2</sub> 発生量 <b>1%減</b> (kg-CO <sub>2</sub> )	142,534	135,210	139,683	138,257
┌ ガソリン使用量 <b>1%減</b> (L)	12,231	12,044	11,987	11,864
└ 電力使用量 <b>1%減</b> (kWh)	175,208	164,617	171,704	169,952
用水使用量 <b>現状維持</b> (L)	293	311	293	293
廃棄物発生量 <sup>※1</sup> <b>1%減</b> (t)	11.25	9.64	11.02	10.91
グリーン購入推進 <b>現状維持</b> (%)	100	100	100	100
化学物質排出量 <sup>※2</sup> <b>現状維持</b> (kg)	11.86	14.05	11.86	11.86
工程見直しによる古紙の有効活用 <b>1%増</b> (t)	47.94	45.84	48.90	49.38

※1：業務で発生する廃棄物の内、古紙（紙類）排出量を除く一般廃棄物と産業廃棄物の排出量削減に取り組む

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（平成27年度実績）（平成28年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.651kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. 東営業所は、営業戦略上、拠点としておいているが、常在していない。電気、水は含まず。

## 9. 環境活動計画の具体的な取組

### 【1】CO<sub>2</sub> 排出量削減

#### (1) 燃料使用量削減

##### 【自動車に関して】

1. 社用車を使用する際、エコドライブを常に心がける<sup>※1</sup>
2. 定期的にタイヤの空気圧を点検する<sup>※1</sup>

※1：東営業所も同様に取り組む

#### (2) 電力使用量削減

##### 【照明・生産設備に関して】

1. 未使用時には、照明、OA機器、断裁機、折り機等の電源をOFFにする<sup>※2</sup>
2. 倉庫・トイレは常時消灯<sup>※2</sup>

※2：東京営業所も同様に取り組む

★デマンド装置  
の配置（本社のみ）

##### 【空調に関して】

1. 冷暖房の温度を、夏期27℃、冬期20℃前後に設定する（事務所）  
※現場の場合、機材の関係上、温度設定が難しい



### 【2】用水使用の節水

1. 節水を呼び掛ける

### 【3】廃棄物削減

1. コピー用紙の裏面の再利用<sup>※3</sup>
2. ヤレ紙の再利用（現場）
3. リサイクルできるものとの分類

※3：東京営業所も同様に取り組む

### 【4】グリーン購入推進

1. 定期的に購入しているグリーン製品をリストアップし、必要な時にはその中からピックアップして購入する

### 【5】化学物質の適正管理

★有機溶剤作業主任者

1. 廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに、  
廃棄物の適切な使用方法及び管理を徹底する



★廃液削減装置の導入（平成25年4月）

廃液を煮詰め、真水と廃棄物に分ける。  
約1/8の量に減らすことができる。

★紙のリサイクル

を促す広告を掲示

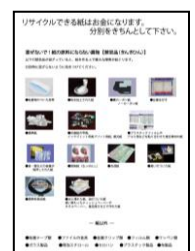
### 【6】工程見直しによる古紙の有効活用

1. ごみ分類の徹底により、リサイクル量を増やす

### 【7】その他

1. 平成28年4月より、印刷用のインキを速乾性インキ<sup>※4</sup>に変更。  
パウダースプレーの使用量を半減させることができる。

※4：DICフュージョンGMK



## 10. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間： 平成28年 8月 ～ 平成29年 7月

項目		活動内容	平成27年度	平成28年度	取組結果	評価
CO <sub>2</sub> 排出量削減	使用量削減	燃料				
		ガソリン使用量 (L)	12,231	12,044	対27年度比 98.5 %	○
	○エコドライブの励行 ○タイヤ空気圧の点検			エコドライブできている。 また、タイヤの空気圧も1カ月に一度は点検できている。		
	電力					
電気使用量 (kWh)	175,208	164,617	対27年度比 94.0 %	○		
○不要な照明・機器の電源を消す			不要な電気は、こまめに消すことができている。			
用水使用の節水		水使用量 (L)	293	311	現状維持	○
	○節水呼びかけ			今回、使用量が増えてしまったが、原因が分かっているのので、引き続き節水を心がけていきたい。		
廃棄物削減		廃棄物排出量 (t)	11.25	9.64	対27年度比 85.7 %	○
	○紙の裏面の再利用 ○リサイクルできるものとの分類			紙の裏面の再利用、リサイクルできるものとの分類は無理なくできている。		
グリーン購入推進		グリーン購入率 (%)	100	100	現状維持	○
	○購入の際、環境に配慮されている商品を可能な限り選ぶ			購入の際は、リストアップしている中から選んで商品を購入できている。		
化学物質の適正管理		化学物質排出量 (kg)	11.86	14.05	現状維持	○
	○使用方法及び管理の徹底			適正管理できている。		
工程見直しによる古紙の有効活用		古紙リサイクル量 (t)	47.94	45.84	対27年度比 95.6 %	○
	○分類を徹底			目標を達成できなかったが、古紙の有効活用に取り組むことができている。		

## 1.1. 次年度の環境活動計画の 取組内容

項目		活動内容	担当者
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの励行 <sup>※1</sup> ○タイヤ空気圧の点検 <sup>※1</sup>	辻
	電力使用量 削減	○不要な照明・機器の電源を消す <sup>※2</sup>	安野
用水使用の節水		○節水呼びかけ	鈴木
廃棄物削減		○紙の裏面の再利用 <sup>※2</sup> ○リサイクルできるものとの分類	鈴木
グリーン購入推進		○定期的に購入しているグリーン製品をリストア ップし、必要な時にはその中から購入する	鈴木
化学物質の適正管理		○使用方法及び管理の徹底	牟礼
工程見直しによる 古紙の有効活用		○分類を徹底	鈴木

※1：東営業所でも同様に取り組む

※2：東京営業所でも同様に取り組む

## 1 2 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	当社の順守内容	担当者	遵守状況
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法（P R T R法）	・使用している化学物質すべてのSDSを管理し、取扱上の注意点を認識する ・使用している化学物質の使用量を記録する	牟礼	○
		鈴木	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	【一般廃棄物】 ・廃棄物の再利用等により減量化に努める 【産業廃棄物】 ・管理票（マニフェスト）を管理、5年間保管する ・産業廃棄物の委託契約書を管理、保管する ・毎年、6月末までに状況報告書を都道府県知事へ提出する	鈴木	○
フロン排出抑制法	・業務用エアコンを廃棄する際は、フロン類回収業者に引き渡し、回収破壊費用を負担する ・フロンを含有する機器は、3ヵ月に一度担当者が点検を実施し、その記録を保管する	安野	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	・対象となる特定家電（テレビ/冷蔵庫/エアコン/洗濯機/衣類乾燥機）を廃棄する際、適正に引き渡し、リサイクル費用を支払う	安野	○
香川県環境基本条例	公害防止、環境への負荷の低減のために必要な措置を講じる	安野	○
香川県放置自動車の処理に関する条例	勤務時間外は敷地内に適切に管理し、使用時は所定の駐車場所へ駐車する	安野	○
みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	県が実施する緑化の推進とみどりの保全に関する施策に協力するよう努める	鈴木	○
香川県生活環境の保全に関する条例	・地球温暖化の理解を深め、自動車によるCO <sub>2</sub> の排出を抑制する為、エコ運転を励行する ・アイドリングストップの励行 ・事業所にて発生する廃棄物の減少に努め資源の有効利用を図ると共に、電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進する	辻	○
		安野	○
高松市環境基本条例	廃棄物を適正に処理する	安野	○
高松市環境美化条例	容器包装の再資源化促進及びたばこの吸い殻等の散乱防止について、従業員の意識の啓発を図る	安野	○
高松市廃棄物の適正処理及び再生利用の促進に関する条例	周辺の清掃を行い、清潔を保ち、みだりに廃棄物が投棄されないよう管理する	鈴木	○

※上記の条例全ての遵守状況は、平成29年9月2日に確認をした。  
遵守の場合は、「○」と記載する。

### (2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

過去3年間において、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

### 13. 代表者による全体評価と見直しの結果

項 目	評 価 ・ 見 直 し
環境マネジメントシステムについて	<p>全体的に今回は達成出来ていない項目が目立つ。しかしながら未達成の要因を確認するとやむを得ない要因もあるので、今年度はその要因を意識しながら取り組むこと。</p>
環境パフォーマンス評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年と車の種類や台数が同じにもかかわらず、CO<sub>2</sub>排出量は今回も目標を達成出来ている。引き続きCO<sub>2</sub>削減の取り組みに努めていきたい。</li> <li>・ 電気代も猛暑の割に目標を達成出来ている。一人ひとりの意識レベルが高まっていると思うが、仕事の効率が悪くなったり熱中症にならないよう気をつけたい。</li> <li>・ 水使用量に関しては今回未達成になっているが、水道管に海水混入という思わぬ被害を受けてしまい、水道タンクの洗浄や機械の洗浄などに大量の水道水を使用した。なお、水道局よりイレギュラー分の料金は差し引いて貰っている。</li> <li>・ 産業廃棄物に関しては今回も達成出来ている。引き続き分別など意識を維持したい。</li> <li>・ グリーン購入は26年度、27年度と2年連続目標を達成出来ていなかったが、今回は再生紙や購入物の内容を見直した結果、目標を達成することが出来た。</li> <li>・ 化学物質排出量は、今回印刷において紙粉の出やすい印刷物の受注が多く、ローラーの洗浄に時間が掛かったのが原因と見られる。仕事の要因ではあるが極力使用量を少なく出来るよう心がけたい。</li> <li>・ 今回初めて古紙の目標を達成出来なかった。印刷物の仕事が減り、IT関連の仕事が増えたことによる要因だと思われる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第16回印刷産業環境優良工場表彰候補工場の1次審査を通過したが残念ながら2次通過とはならなかった。GP認定など今後も取得に向けて取り組みたい。</li> <li>・ 全日本印刷工業組合連合会のCSRツースター認定の更新を行った。</li> </ul>